

YAMAHA

# SOUND EDGE

SW60XG

取扱説明書

GENERAL  
MIDI  
XG

# 安全上のご注意

ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。いずれもおお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

記号表示について

⚠ 記号は、危険、警告または注意を示します。

⊘ 記号は、禁止行為を示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

● 記号は、行為を強制したり指示したりすることを示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

\* お読みになった後は、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## 警告

この表示内容を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。



カード上の基板部分やコネクタ部に無理な力を加えたり、部品を分解したり改造したりしない。  
感電や火災、または故障などの原因になります。



サウンドカードを取り付ける前に、必ずコンピューターの電源プラグを抜く。  
電源を接続したまま取り付けを行うと、感電の原因になります。

## 注意

この表示内容を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。



サウンドカードを持つときは、前もって他の金属に触れるなどして、静電気が起きないように注意する。  
静電気が発生すると、サウンドカードの故障の原因になります。



他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行う。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にする。  
感電または機器の損傷のおそれがあります。



直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、極端に湿度の高いところ、またほこりや振動の多いところで使用しない。  
内部の部品が故障する原因になります。



テレビやラジオ、スピーカーなど他の電気製品の近くで使用しない。  
デジタル回路を多用しているため、テレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。  
聴覚障害の原因になります。



作成したデータはこまめにフロッピーディスクに保存する。  
作成したデータは、故障や誤操作などのために失われることがあります。大切なデータは、必ずフロッピーディスクに保存することをおすすめします。

不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。また、データが破損したり失われたりした場合の保証はいたしかねますので、ご了承ください。

### 電波障害自主規制届出装置の記述

この装置は、第2種情報装置(住宅地域またはその隣接した地域において使用されるべき情報装置)で住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協会(VCCI)基準に適合しております。  
しかし、本製品をラジオ、テレビジョン受信機に近接してご使用になると、受信障害の原因となることがあります。  
本書に従って正しい取り扱いをしてください。

この取扱説明書に掲載されている画面は、すべて操作説明のためのもので、実際の画面と異なる場合があります。  
アプリケーションのバージョンアップなどに伴う、システムソフトウェアおよび一部の機能や仕様の変更については、別紙または別冊で対応させていただきます。

本製品および取扱説明書の著作権はヤマハ株式会社にあります。

本製品および取扱説明書の一部または全部を無断で複製、改変することはできません。

本製品および取扱説明書を運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。

Windows、MS-DOSは米国マイクロソフト社の登録商標です。

IBM PC/ATはIBM社の商標です。

この取扱説明書に掲載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

# はじめに

このたびはSW60XGをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。  
SW60XGをお使いいただくために、まず本書をご活用いただきますようご案内申し上げます。

また、ご一読いただいた後も不明な点が生じた場合に備え、  
取扱説明書を大切に保管いただきますようお願い申し上げます。

## SW60XGの特長

### AWM ウェーブテーブル

AWM2 音源を使用した、676 ノーマルボイス & 21 ドラムボイス [セット] の高音質の 32 音 poly (最大同時発音数) ウェーブテーブルを搭載しています。

### エフェクトとカラオケ

リバーブ (11)、コーラス (11)、バリエーション (44) の 3 系統のデジタルエフェクトを内蔵しています。Windows 上のアプリケーション「Effect GearII」を使って、臨場感あふれるサウンドや、曲のピッチを変えたり CD などのボーカルを小さくしてカラオケ用の伴奏をつかってお楽しみいただけます。マイクなどの外部入力に対してエフェクトをかけることができますので、素晴らしいカラオケの環境を作ることができます。また、DOS 上のアプリケーション「EFFECTCON」を使って、GM 対応ゲームを迫真のサウンドでお楽しみになれます。

### GM/XG 対応

GM 規格やヤマハの XG に対応していますので、市販の GM 曲集や XG 曲集を最適な環境でお楽しみになれます。

**NOTE** 市販の曲集を再生する以外に、自分で作ったソングデータに SW60XG の音色やエフェクトを使用する場合は、システムエクスクルーシブデータを編集できるシーケンスソフトを使って、XG システムオン\*などのパラメーターチェンジを SW60XG に送信する必要があります。MIDI データフォーマット (システムエクスクルーシブメッセージ) やボイスリスト、エフェクトタイプリストなどの関係資料については、付属フロッピーディスクの SW60XG フォルダをご参照ください。

\* XG System On (F0 43 1n 4C 00 00 7E 00 F7)  
TG300B Reset (F0 41 1n 42 12 40 00 7F 00 41 F7)  
n = デバイスナンバー

## 目次

ご使用の前に .....	2
SW60XG セットアップガイド .....	3
1. 各部の名称と機能 .....	3
2. サウンドカードの取り付け .....	4
3. ソフトウェアのインストール .....	6
SW60XG アプリケーションソフトウェア .....	10
EffectGearII (エフェクトギア II) .....	10
EFFECTCON (エフェクトコン) .....	11
故障かな?と思ったら .....	12
仕様 .....	13

### 基本的な Windows の操作

この取扱説明書は、お客様が Windows の基本的な操作についてご理解いただいていることを前提に説明しています。Windows の操作に関することは Windows 付属の取扱説明書をご参照ください。

# ご使用前に

まず、別紙の「パッケージの内容」をご覧ください、パッケージの内容をご確認ください。(万一付属品に不足がある場合は、すぐに購入店までご連絡ください)。

## パッケージ以外に必要なもの

SW60XG をお使いいただくには、以下のハードウェアおよびソフトウェアが必要です。

### コンピューター 一式

#### コンピューターメモリー

80386SX/33MHz 以上の CPU を内蔵し、増設メモリーも含めて 8MB 以上のメモリーを搭載したパーソナルコンピューターが必要です。

#### ハードディスク

SW60XG 付属のソフトウェアを使用するためには、ソフトウェアやドライバーをインストールする必要があります。インストールし、ご利用いただくためには、ハードディスクに約 3MB 以上の空き容量が必要です。

#### フロッピーディスクドライブ

ソフトウェアをインストールしたり、データを保存/読み込みするためにフロッピーディスクドライブが必要です。

#### マウス

ソフトウェアの操作は主にマウスで行います。

#### 拡張スロット (ISA16 ビット)

サウンドカードを取り付けるには、拡張スロットに空きスロットが必要です。

### DOS

Windows3.1 または Windows95 が動作する日本語版の MS/PC DOS 5.0 以上が必要です。

### Windows

Windows3.1 以上が必要です。

## その他

必要に応じて以下のハードウェアをご用意いただくことで、SW60XG の機能をより一層拡張してお楽しみいただけます。

### CD-ROM ドライブ

コンピューター内蔵 CD-ROM のオーディオ出力を SW60XG の CD IN コネクタに接続すると、CD-ROM のサウンドに SW60XG のエフェクトをかけることができます。

### YAMAHA Sound Edge SW20 サウンドカード

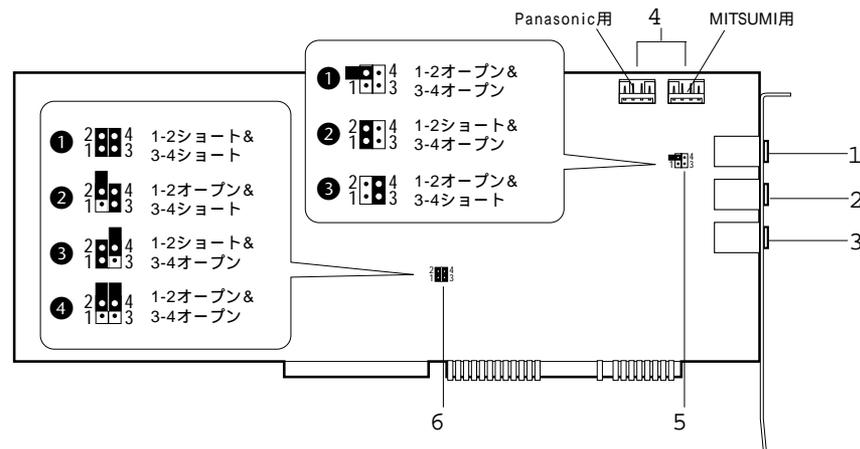
サウンド機能の無いコンピューターをお使いの場合、SW20 を取り付けることで、音楽のソフトシンセサイザー機能をご利用いただけるようになります。また、SW20 付属の Windows/DOS 上のさまざまなエフェクトアプリケーションや Voyetra 社のアプリケーションをお楽しみになれます。

### パワードスピーカー

市販のパワードスピーカーやオーディオ機器を OUTPUT ジャックに接続することにより、より迫力あるサウンドをお楽しみいただけます。

# SW60XGセットアップガイド

## 1. 各部の名称と機能



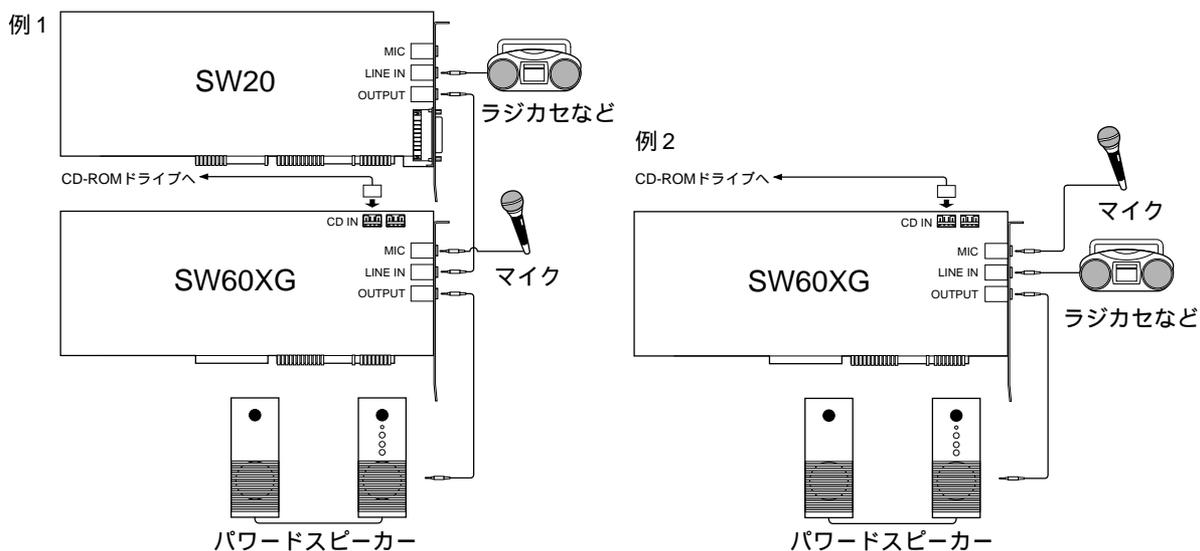
- 1 MIC IN (マイクイン) ジャック：市販のダイナミックマイク (モノラル/ミニジャック) を接続します。マイクからの入力はモノラルとなります。また、MIC TYPE (マイクタイプ) により回路を切り替えることで、2極型/3極型のコンデンサーマイクも使用することができます。
- 2 LINE IN (ラインイン) ジャック：外部機器から音声信号をステレオでライン入力します。ミニジャック (ステレオ) のケーブルで接続します。
- 3 OUTPUT (アウトプット) ジャック：音声信号をステレオで外部出力します。ミニジャック (ステレオ) のケーブルで、(アンプ付き) オーディオ機器やミキサーやヘッドフォンなどと接続します。
- 4 CD IN (シーディーイン) コネクター：コンピューターのオーディオインに接続されている内蔵CD-ROMドライブのアウトプット端子を、このCD IN に接続します。CD-ROMドライブからの音声信号をSW60XGにステレオ入力して、SW60XGのさまざまなエフェクトをかけることができます。Panasonic用とMITSUMI用があります。
- 5 MIC TYPE (マイクタイプ) ジャンパー：接続するマイクのタイプ (ダイナミック、またはコンデンサー 2極型、コンデンサー 3極型) に合わせて3種類のアンプの回路を切り替えることができます。
  - ①1-2 オープン & 3-4 オープン：ダイナミックマイクロフォン
  - ②1-2 ショート & 3-4 オープン：2極型コンデンサーマイクロフォン
  - ③1-2 オープン & 3-4 ショート：3極型コンデンサーマイクロフォン
  - ・工場出荷時は①が選択されています。
- 6 MIDI Port アドレス切替ジャンパー：ISAバスからのMIDI信号をSW60XGに伝えるために、適切なPortアドレスを選択します。既に接続してある周辺機器の設定とぶつからないように、必要に応じて設定してください。
  - ①1-2 ショート & 3-4 ショート：300
  - ②1-2 オープン & 3-4 ショート：310
  - ③1-2 ショート & 3-4 オープン：320
  - ④1-2 オープン & 3-4 オープン：330
  - ・工場出荷時のMIDI Portアドレスは、このジャンパーもソフト (ドライバー) も共に①300に設定されています。



ここで300以外に設定した場合は、9ページのドライバーセットアップのPortアドレスも必ず同じものに變更する必要があります。

## 接続について

以下のイラストは各機器の接続例を示しています。



**!** 接続はすべての機器の電源を切った上で行ってください。接続が完了したら、コンピューター、外部オーディオ機器の順に電源をオンにします(外部オーディオ機器の音量はあらかじめ下げおきます)。電源を切る場合は、逆の順序で行ってください。

**!** 外部入力音源やマイクなどの接続を間違えると、耳を痛めたり、オーディオ機器を破損する原因となりますのでご注意ください。

**NOTE** オーディオ機器の入出力端子には、いろいろなタイプものがあります。お使いになる機器の端子をよくお確かめの上、各機器にあった変換ケーブルをご用意ください。

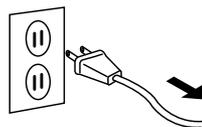
**!** マイクをスピーカーに近づけないようご注意ください。ハウリングを生じる場合があります。

## 2. サウンドカードの取り付け

コンピューター本体に SW60XG サウンドカードを取り付けます。

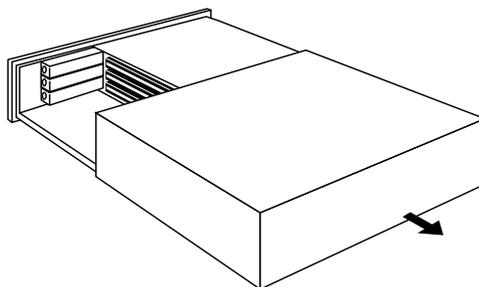
Sound Edge SW20 または他社のサウンドカードと同時に使用することができます。

1. コンピューター本体の電源プラグをコンセントから抜きます。



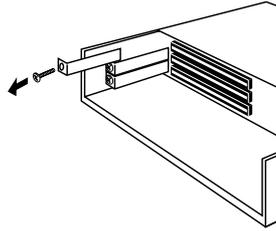
**!** コンピューターの電源が入ったままサウンドカードの取り付けを行うと、感電するおそれがあり、たいへん危険です。必ず電源プラグを抜いた状態で行ってください。

2. コンピューター本体のカバーを取り外します。



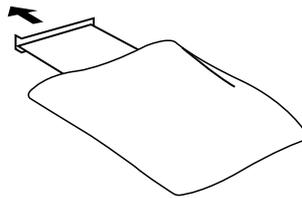
**NOTE** カバーの外し方はコンピューターによって異なります。コンピューター付属の取扱説明書でお確かめください。また、作業の際は、コンピューターのカバーなどで手を切らないよう、手袋を着用されることをおすすめします。

3. ネジをはずして拡張スロットのカバーを取り外します。



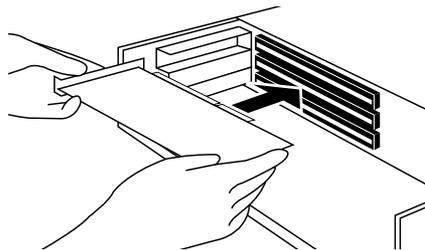
**NOTE** 取り外した拡張スロットのカバーは大切に保管しておいてください。

4. サウンドカードを静電気防止袋から取り出します。

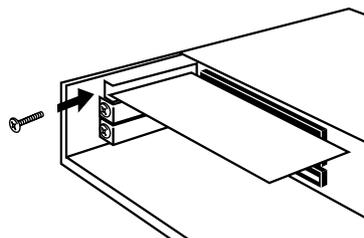


**!** サウンドカードを取り扱う前に、必ずアースされている金属の表面などに触れて、服や身体の静電気を取り除いてください。また、サウンドカードの基板部分やコネクタ部などに触れないようご注意ください。

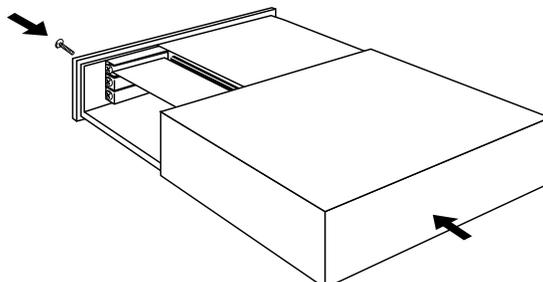
5. コンピューターのコネクタ部にサウンドカードのコネクタ部を挿入します。  
カードの両端を両手で持ち、コンピューターのスロットにゆっくりと押し込んでください。



6. 手順の3ではずしたネジを使ってサウンドカードを固定します。



7. コンピューター本体のカバーを取り付けます。



**NOTE** サウンドカードを取り外す場合は、上記の逆の手順で取り外してください。

### 3. ソフトウェアのインストール

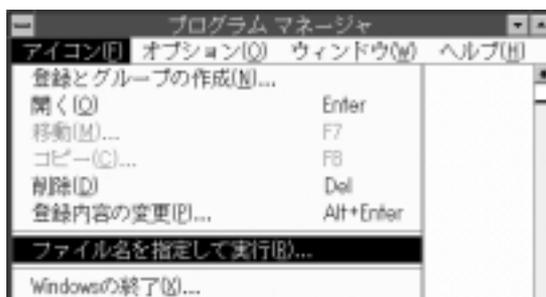
サウンドカード SW60XG をコントロールするドライバーやアプリケーションソフトウェアをインストールします。インストールは、Windows 上で行います。

**!** YAMAHA SW60XG のインストール以前に存在していた MIDI マッパーの内容は、インストール時に上書きされます (Windows 3.1 の場合)。また、AUTOEXEC.BAT、SYSTEM.INI、CONTROL.INI ファイルの内容も上書きされます。以前の設定が必要な方は、記録して保存しておいてください。

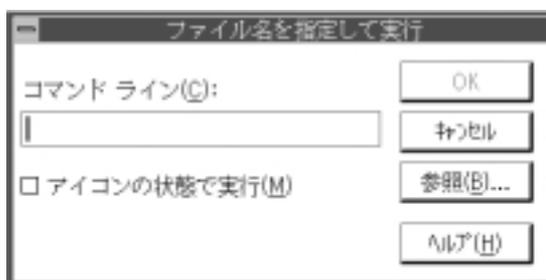
**NOTE** 安全のため、ディスクコピー機能を使ってソフトウェアのバックアップディスクを作成し、オリジナルのディスクは安全な場所に保管されることをおすすめします。

#### Windows 3.1 でのインストール手順

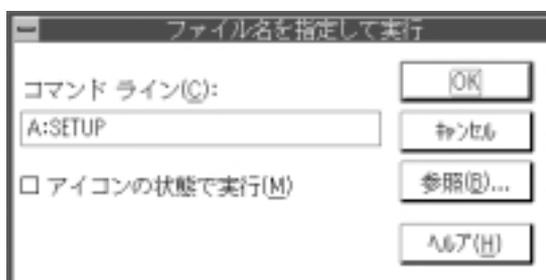
1. ディスクドライブに「Install Disk」を挿入します。
2. プログラムマネージャーのアイコンメニューで“ファイル名を指定して実行”を選択します。



“ファイル名を指定して実行”ダイアログボックスが表示されます。

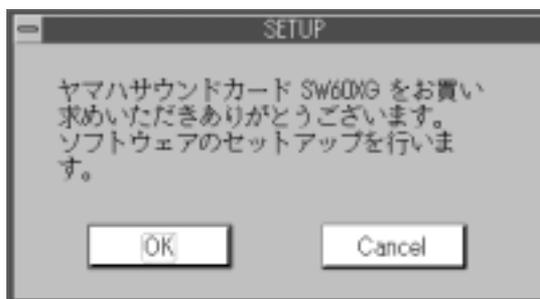


3. コンピューターキーボードを使ってインストールを実行します。  
コマンドラインに“A:SETUP”とタイプし、[OK] を押します。



**NOTE** ここではフロッピーディスクドライブがドライブAであることを前提としています。ドライブA以外の場合には、フロッピーディスクが入っているドライブ名を指定してください。

ディスクが認識されると、次のような画面が表示されます。



4. [OK] をクリックします。

インストールするドライブ/ディレクトリー確認の画面が表示されます。

5. ドライブ/ディレクトリー名を確認して、[OK] を押します。

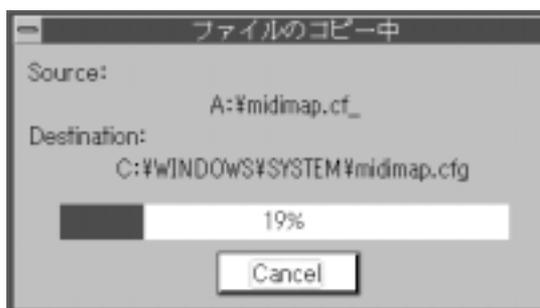
---

**NOTE** 標準ではCドライブに設定されています (Cドライブ、¥SW60XGディレクトリー)。インストールするドライブ/ディレクトリーを変えたい場合は、その名前を入力してください。

---



次の画面が表示され、インストールが始まります。



インストールの進行状況がグラフで表示されます。

ファイルのコピーが終了すると、次の画面が表示されます。



6. [Y] を押してコンピューターを再起動してください。

## Windows95 でのインストール手順

1. マイコンピュータにあるコントロールパネルをダブルクリックします。  
コントロールパネルが開きます。



2. コントロールパネルの中の“アプリケーションの追加と削除”アイコンをダブルクリックします。  
“アプリケーションの追加と削除のプロパティ”が開きます。



3. セットアップをクリックします。  
“フロッピーディスクからのセットアップ”ダイアログボックスが開きます。



4. 「Install Disk」をフロッピーディスクドライブに挿入して、次へをクリックします。  
セットアッププログラムの実行ダイアログボックスが開きます。



5. セットアッププログラムのコマンドラインが正しいことを確認して、完了をクリックします。  
SW60XG セットアッププログラムが表示されます。  
ここからは Windows 3.1 のインストール手順と同じです。Windows 3.1 のインストール手順 4. 以降をご参照ください。

## AUTOEXEC.BAT、SYSTEM.INI、CONTROL.INI ファイルに書き加えられる内容

ヤマハ SW60XG ソフトウェアをインストールすると、AUTOEXEC.BAT、SYSTEM.INI、CONTROL.INI ファイルには以下の行が組み込まれます。

AUTOEXEC.BAT “\_” は半角スペースを表します。

```
rem--SW60XG installer wrote. Do not modify the following_line--
C:\SW60XG\efcon_/type:1_/line:100_/mic:100_/midi:100_/vcl:0
rem --
```

\* DOSゲーム用起動ディスクのAUTOEXEC.BATに上記の行を組み込んでおくと、ゲームの効果音にエフェクトが自動的に使用されます。

### SYSTEM.INI

```
[drivers]
midixx=sw60xg.drv

[SW60XG.DRV]
port=300
```

\* xx= 任意の数値。

### CONTROL.INI

```
[drivers.desc]
sw60xg.drv=Yamaha SW60XG.Drv

[Userinstable.drivers]
midixx=sw60XG.drv
```

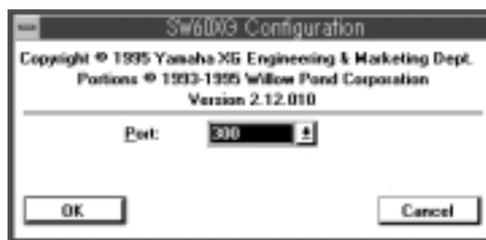
## SW60XG ドライバーについて

Windows で MIDI のやりとりの中心になるのは “ドライバー” です。ヤマハ SW60XG ソフトウェアをインストールすると、コントロールパネル内の “ドライバー” に “Yamaha SW60XG Driver” が、MIDI マッパー内に “SW60XG” マップが自動的に追加されます。

既にインストールされている他のプログラムに MIDI ポートアドレスの初期設定値 (300) が使用されている場合は、空いているアドレスを選択する必要があります。(ここでアドレスを変更した場合は、必ず、3 ページの MIDI ポートアドレスジャンパーも同じものに変更してください)。

Yamaha SW60XG Driver の MIDI ポートアドレスの設定 (Windows3.1 の場合)

1. “コントロールパネル” 中の “ドライバー” のアイコンをダブルクリックします。  
“ドライバーの設定” ダイアログボックスが表示されます。
2. “Yamaha SW60XG Driver” をクリックして選択します。
3. [設定] ボタンをクリックします。  
“Yamaha SW60XG Driver Setup” の画面が表示されます。



4. 必要に応じて、Port アドレスを変更します。

Windows95の場合は、コントロールパネルの “マルチメディア” “マルチメディアのプロパティ” “詳細設定” “MIDIデバイス” “Yamaha SW60XG Driver” “情報” で [設定] をクリックして、MIDIポートアドレスを変更します。



ここでのドライバーの設定によって、サウンドカード自体のPortアドレス(ジャンパー)を同じものに変更する必要があります。3ページをご参照ください。

# SW60XGアプリケーションソフトウェア

SW60XGソフトウェアにはWindows上で使用するもの(EffectGearII[エフェクトギアII])とDOS上で使用するもの(EFFECTCON[エフェクトコン])があります。

## EffectGearII (エフェクトギアII)

“EffectGearII”を使うことで、マイクの音声やラインの音声信号/CD-ROMドライブからの再生音に対して、いろいろなエフェクトをかけることができます。

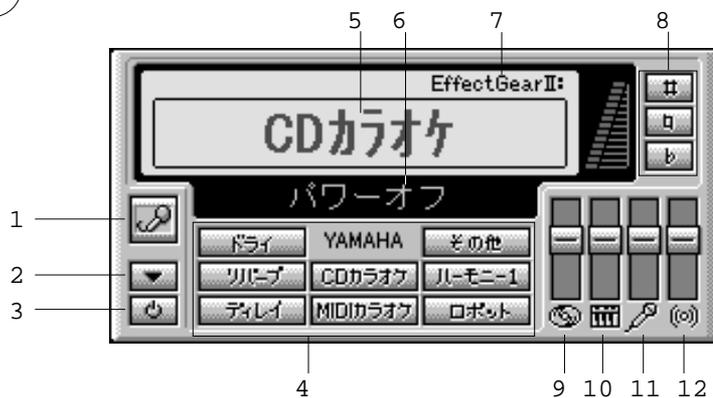
また、曲のピッチを変えたりCDなどのボーカルを小さくする機能(ボイスキャンセル)も備えていますので、お手持ちのCDをカラオケとしてお楽しみいただくこともできます。

**!** EffectGearIIとシステムエクスクルーシブを送信できる他のMIDIソフト(PC KARAOKE 歌楽など)を同時に使用しないでください。同時に使用すると、マイクやMIDIの音が出ないといった問題が生じる場合があります。この場合、もう一度起動し直してください。

### 起動方法

Windows上で、YAMAHA SW60XGの中の“EffectGearII”のアイコンをダブルクリックすると、“EffectGearII”が起動します。

### 各部の名称と機能



- 1 ボイスキャンセルボタン：このボタンをクリックすると、ボイスキャンセルモードになります。オーディオCDなどのボーカルの音が小さくなり、ちょうどカラオケの伴奏のような状態をつくることができます。  
選択するエフェクトの種類によっては、ボイスキャンセルができないものがあります。
- 2 アイコン化ボタン：このボタンをクリックするとEffectGearIIがアイコン化します。
- 3 パワーオフボタン：このボタンをクリックするとEffectGearIIが終了します。
- 4 エフェクトメニューボタン：クリックして使用したいエフェクトを選択します。[その他] ボタンをクリックすると、エフェクトタイプリストが表示されます。いろいろなエフェクトの中から使用したいエフェクトを選択することができます。
- 5 エフェクトディスプレイ：エフェクトメニュー4の中から現在選ばれているエフェクト名が表示されます。ダブルクリックするとエフェクトタイプリストが表示されます。
- 6 ワンラインヘルプ：現在カーソルが置かれている位置のボタン名や機能内容を1行で表示します。
- 7 つねに手前に表示：クリックして表示させたボックスをチェックしておくで、EffectGearIIを常に他のアプリケーションの上に表示するようになります。
- 8 ピッチシフト(キーコントロール)：入力される音声信号のピッチ(音程)を半音単位で移調します。

再生中/停止中に関わらず、変更することができます。↓ ボタンをクリックするたびに半音ずつピッチを下げ、↑ ボタンをクリックするたびに半音ずつピッチを上げます。↓ ボタンをクリックすると、その曲の元の音程に戻ります。

ボタンの横に、現在選択されている音程が表示されます。

選択するエフェクトの種類によっては、音程が変更できなくなるものがあります。

- 9 ライン/CD ボリューム フェーダー：LINE IN や CD IN のボリュームを調節します。  
選択するエフェクトの種類によっては、入力レベルが調節できなくなるものがあります。
- 10 MIDI ボリューム フェーダー：MIDI のボリュームを調節します。
- 11 マイクボリューム フェーダー：MIC IN のボリュームを調節します。
- 12 エフェクトデプス フェーダー：現在選択されているエフェクトの深さを調節します。  
ドライ (原音) を選択すると、フェーダー表示が消えて、変更できなくなります。  
MIDI音源部にかかるエフェクトを直接コントロールすることはできません。

#### NOTE

エフェクトのタイプによっては、エフェクトフェーダーを最大に近づけると、ハウリングを生じる場合があります。

選択したエフェクトのタイプによっては、“ボイスキャンセル”や“ピッチシフト”が効かないものがあります。

カラオケエフェクト

カラオケ用エフェクトとして以下のようなものを用意してあります。

CDカラオケ：市販CDのボーカル音を小さくして、カラオケがお楽しみになれます。マイク音声にはリバーブがかかります。また、カラオケの音程を変えることができます。

MIDIカラオケ：市販のMIDIファイルで、カラオケがお楽しみになれます。マイク音声にはエコーがかかります。また、カラオケの音程を変えることができます。

## EFFECTCON(エフェクトコン)

DOS上で、ライン/CDやマイクからの音声信号に、SW60XGのクオリティの高いエフェクトをかけることができます。GM対応ゲームを迫真のサウンドでお楽しみになれます。

以下の操作説明で“\_”の表示は半角スペースを意味します。

### 起動方法

DOS上で、YAMAHA SW60XGの中のEFCONを起動させます。

CD\_¥SW60XG + [ENTER]

EFCON + [ENTER]

コマンドの一覧が表示されます。

```
C:\>CD SW60XG
C:\SW60XG>EFCON

EFCON - SW60XG Control Utility Version 1.00
Copyright (c)1995 YAMAHA Corp. All rights reserved.

Usage : efcon [Batch commands]

1 --- /quiet      Verbose on/off
2 --- /type:[x]  Type No.           x:=0-3      0:Dry / 1:Rev / 2:Cho / 3:Rev+Cho
3 --- /line:[x]  Line/CD Volume        x:=0-127
4 --- /mic:[x]   Mic Volume            x:=0-127
5 --- /midi:[x]  MIDI Volume          x:=0-127
6 --- /rev:[x]   Reverb Depth         x:=0-127
7 --- /cho:[x]   Chorus Depth        x:=0-127
8 --- /vcl:[x]   Voice Cancel      x:=0|1      0:off / 1:on
9 --- /detect   Detect SW60XG
10 --- /test    Test SW60XG

C:\SW60XG>
```

- 1 QUIET コマンド実行のたびに表示される確認メッセージを出さないようにします。  
コマンド = EFCON\_/QUIET + [ENTER]
- 2 TYPE 使用するエフェクトタイプを選択します。  
コマンド = EFCON\_/TYPE : X + [ENTER]  
X = タイプナンバー (0 = ドライ、1 = リバース、2 = コーラス、3 = リバース + コーラス)
- 3 LINE LINE IN/CD IN からの入力レベルを設定します。  
コマンド = EFCON\_/LINE : Y + [ENTER] Y = ボリューム 0 ~ 127
- 4 MIC MIC IN からの入力レベルを設定します。  
コマンド = EFCON\_/MIC : Y + [ENTER] Y = ボリューム 0 ~ 127
- 5 MIDI MIDI音源からの入力レベルを設定します。  
コマンド = EFCON\_/MIDI : Y + [ENTER] Y = ボリューム 0 ~ 127
- 6 REV リバースの深さを設定します。  
コマンド = EFCON\_/REV : Y + [ENTER] Y = ボリューム 0 ~ 127
- 7 CHO コーラスの深さを設定します。  
コマンド = EFCON\_/CHO : Y + [ENTER] Y = ボリューム 0 ~ 127
- 8 VCL ボイスをキャンセルします。オンにすると、オーディオCDなどのボーカルの音が小さくなり、ちょうどカラオケの伴奏のような状態をつくることができます。  
コマンド = EFCON\_/VCL : Z + [ENTER] Z = 0 (オフ)、1 (オン)
- 9 DETECT 4つのMIDIポートアドレスの使用状況を確認することができます。  
コマンド = EFCON\_/DETECT + [ENTER]
- 10 TEST SW60XGのハードウェアのテストを行います。  
コマンド = EFCON\_/TEST + [ENTER]

## 故障かな?と思ったら

---

### Windows が起動しない

---

サウンドカードがしっかりと接続されていない可能性があります。電源を切ってもう一度サウンドカードをコンピューターの拡張スロットにしっかりと入れ直してください。(または、ほかの拡張スロットを試してみてください。)

---

### MIDI (内蔵シンセサイザー音源) が鳴らない

---

MIDI アプリケーションの Output が Yamaha SW60XG Driver になっているか確認してください。  
EffectGearII のボリュームフェーダーが上がっているか確認してください。

---

### MIDI ファイル再生中にエフェクトを切り替えたり、EffectGearII を起動すると音色がピアノに変わる

---

MIDI ファイル再生中に、(外部入力にエフェクトをかけようとして) ドライ (原音) から他のエフェクトに切り替えたりエフェクトからドライに切り替えたりすると、MIDI 音源部の動作モードが変更されます (すべてのパラメーターが初期化されます)。この場合、10チャンネル (ドラムパート) 以外は音色がピアノになります。また、EffectGearII を起動すると同様のことが生じます。

# 仕様

## 動作環境

コンピューター (PC/AT 互換機)	CPU : 80386/33MHz 同等かそれ以上 メモリー : 8MB 以上のシステムメモリー 16Bit ISA スロット内蔵
モニタ	カラーまたはグレースケールの VGA/ スーパーコンパティブル
周辺機器	マウス、ハードディスク、オーディオスピーカー、ヘッドフォン
OS	日本語 DOS Ver5.0 以上 /Windows 3.1 以降

## シンセサイザー音源部

YAMAHA SWP00	音色数 : 676 ノーマルボイス、21 ドラムボイス [セット] 最大同時発音数 : 32 音 (AWM2 ウェーブテーブル) マルチティンバー : 16 音色 同時発音 ウェーブROM 4MB
コンパティビリティ(互換性)	
サウンドモジュール(音源)モード	GM システムレベル 1 XG TG300B

## エフェクト

YAMAHA SWP00	リバーブ (11)、コーラス (11)、バリエーション (44) の3系統
YAMAHA KP (YSS205)	ボイスキャンセル

## ポート

OUTPUT	ステレオミニジャック
LINE IN	ステレオミニジャック
MIC IN	モノラルミニジャック
CD-ROM コネクター	Panasonic、MITSUMI

## その他

寸法	107 (W) x 224 (D) x 22 (H) mm
重量	130g

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

# 保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

\*この「保証とアフターサービス」はハードウェア(サウンドカード本体)に関するものです。ソフトウェアについては、別紙の「ユーザーサポートサービス」をご参照ください。

### 自己診断

サウンドカードをお持ち込みいただく前に、一度同梱されているテストプログラムにて異常の有無をご確認ください。サウンドカード(ハードウェア)の自己診断を行うことができます(取扱説明書本文の12ページをご参照ください)。

### 保証書

本機には保証書がついています。保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

### 保証期間

お買い上げ日から1年間です。

### 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

### 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理、または同等品と交換させていただきます。

下記の部品については、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

### 消耗部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、フロッピーディスクドライブなど

### 持込み修理のお願い

まず本書の「故障かな?と思ったら」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ本機をご持参ください。

### 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

## ヤマハ電気音響製品サービス拠点 (サウンドカード修理品お持ち込み窓口)

北海道サービスセンター	〒064	札幌市中央区南10条西1丁目1番50	TEL (011) 513 5036
仙台サービスセンター	〒983	仙台市若林区卸町5番7 仙台卸商共同配送センター3F	TEL (022) 236 0249
首都圏サービスセンター	〒211	川崎市中原区木月1184	TEL (044) 434 3100
東京サービスステーション	〒108	東京都港区高輪2番17番11	TEL (03) 5488 6625
浜松サービスセンター	〒435	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内	TEL (053) 465 6711
名古屋サービスセンター	〒454	名古屋市中川区玉川町2番12番2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F	TEL (052) 652 2230
大阪サービスセンター	〒565	吹田市新芦屋下1番16 ヤマハ(株)千里丘センター内	TEL (06) 877 5262
四国サービスステーション	〒760	高松市丸亀町8番7 ヤマハ(株)高松店内	TEL (0878) 22 3045
広島サービスセンター	〒731-01	広島市安佐南区西原6番14番14	TEL (082) 874 3787
九州サービスセンター	〒812	福岡市博多区博多駅前2番11番4	TEL (092) 472 2134
[本社] カスタマーサービス部	〒435	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内	TEL (053) 465 1158

## 商品に関するお問い合わせ窓口

北海道支店第二営業課	〒064	札幌市中央区南10条西1丁目1番50	TEL (011) 512 6113
仙台支店第二営業課	〒980	仙台市青葉区大町2番2番10	TEL (022) 222 6147
東京支店第二営業部	〒108	東京都港区高輪2番17番11	TEL (03) 5488 5471
関東支店第二営業課	〒108	東京都港区高輪2番17番11	TEL (03) 5488 1688
名古屋支店第二営業課	〒460	名古屋市中区錦1番18番28	TEL (052) 201 5199
大阪支店第二営業課	〒542	大阪市中央区南船場3番12番9 心斎橋プラザビル東館	TEL (06) 252 5231
広島支店第二営業課	〒730	広島市中区紙屋町1番1番18 ヤマハビル	TEL (082) 244 3749
九州支店第二営業課	〒812	福岡市博多区博多駅前2番11番4	TEL (092) 472 2130
電子楽器営業部 デジタルCBX営業課	〒430	浜松市中沢町10番1	TEL (053) 460 2432

所在地・電話番号などは変更されることがあります。

## ソフトウェアのご使用条件

この度は、ヤマハ株式会社(以下弊社といひます)の本ソフトウェア製品を、お求めいただきまして誠にありがとうございます。弊社では本製品のお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについて、<ソフトウェア使用許諾契約>を設けさせていただいており、お客様が下記条項にご同意いただいた場合にのみご使用いただけます。フロッピーディスクの包装を解かれた場合は下記条項にご同意いただけたものとさせていただきますので、下記条項を充分お読みの上開封してください。ご同意いただけない場合は、未開封のまま速やかにご返却ください。この場合、お支払済みの料金はお返しいたします。

### ソフトウェア使用許諾契約

---

#### 1. 著作権および使用許諾

弊社はユーザー登録されたお客様に対し、このフロッピーディスクに入っているプログラム及びデータファイル(以下「許諾プログラム」といひます)を、ご自身が一時に一台のコンピューターにおいてのみ使用する権利を許諾します。これらの許諾プログラムが記録されているディスクの所有権は、お客様にありますが、許諾プログラム自体の権利及びその著作権は、弊社が所有します。

#### 2. 使用制限

許諾プログラムは著作権を持つ情報を含んでいますので、その保護のため、許諾プログラムを逆コンパイル、逆アセンブル、リバース・エンジニアリング、またはその他の方法により、人間が感得できる形にすることは許されません。許諾プログラムの全体または一部を複製、修正、改変、賃貸、リース、転売、頒布または許諾プログラムの内容に基づいて二次的著作物をつくることは許されません。許諾プログラムをネットワークを通して別のコンピューターに伝送することも許されません。

お客様が、このソフトウェアご使用条件、許諾プログラムの複製物、及び付属するすべての印刷物を譲渡し、一切の複製物を保持せず、かつ譲渡人が本使用条件の条項に同意した場合に限り、本使用条件に基づくお客様の権利を第三者に譲渡できます。

#### 3. 終了

本使用条件はお客様が許諾プログラムをお受け取りになった日に発効します。本使用条件による使用許諾は、お客様が著作権法または本使用条件の条項の1つにでも違反されたときは、弊社からの終了通知がなくても自動的に終了するものとします。その場合には、ただちに許諾プログラムとその複製をすべて廃棄しなければなりません。

#### 4. 製品の保証

弊社は、許諾プログラムが正常な使用状態でマニュアル通りの作動をしない場合は、唯一の保証責任として無償で同種の良品と交換させていただきます。

#### 5. 責任制限

弊社は、許諾プログラムの使用、またはそれを使用できなかったことにより生じた派生的、付随的または間接的損害(データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む)については、たとえそのような損害の発生や第三者からの賠償請求の可能性があることについて予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。

#### 6. 一般事項

本契約は、日本法の適用を受け、日本法に基づいて解釈されるものとします。